



2025 年 11 月 25 日

各位

バイオ燃料姫路製造所開所に関するお知らせ

富士ユナイトホールディングスグループにおいて、グリーン領域の再生可能エネルギー事業およびエネルギー領域の石油事業を行う事業会社：富士興産株式会社（社長：川崎 靖弘）は、2025年2月に着工したバイオ燃料姫路製造所の建設工事の完了（完工）に伴い、2025年11月21日に竣工式典を執り行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本バイオ燃料製造所の稼働により、本所は、年間 1.2 万 KL（B5 軽油換算）のバイオ軽油の製造/供給が可能となります。自社製造所である岸和田製造所、野田製造所と合わせて、年間約 2 万 KL（B5 軽油換算）の製造/供給体制を有する国内トップクラスのバイオ軽油製造/供給者となり、今後のバイオ軽油（バイオ燃料）需要伸長への対応となる戦略投資の一環となります。

記

1. バイオ燃料姫路製造所概要

名 称：富士興産株式会社 姫路製造所
所 在 地：兵庫県姫路市飾磨区中島 2997
敷 地 面 積：約 2,200 m²
工 期：2025 年 2 月～2025 年 11 月
出 荷 油 種：B100 燃料、B5 軽油、BX 燃料（任意の割合で混和したバイオ燃料）
出 荷 数 量：年間 12,000KL
出 荷 荷 姿：小型ローリー、大型ローリー
配送エリア：兵庫県、大阪府、岡山県

2. バイオ燃料姫路製造所の強み

お客様のご要望に応じ、柔軟かつ効率的な出荷体制を整備しました。

- ① バイオ原料の混和比率を 1～99%まで可変的に調整し出荷出来る「高性能ブレンダー」を設置
- ② 大型キャノピー出荷設備を使うことで、ISO コンテナから小型ローリーまで、様々なタイプのローリーを用いた受入・出荷対応が可能
- ③ AI 搭載カメラを用いた保全管理システムの導入

3. バイオディーゼル燃料とは

バイオディーゼル燃料は廃食油を原料としているため、地球にやさしいエネルギーです。

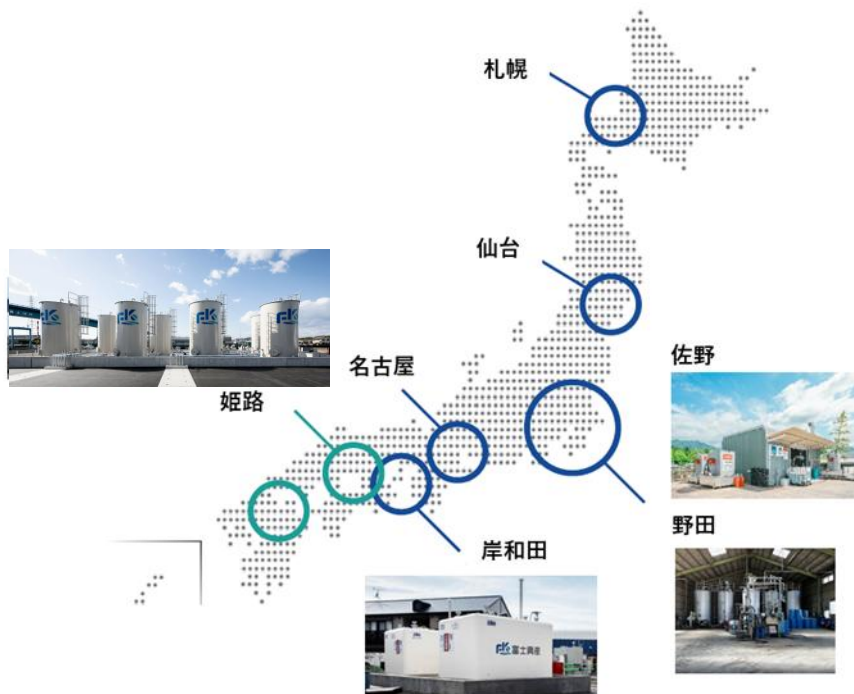
バイオ燃料の原料となる植物が、成長過程で空気中の CO2 を吸収しているため、結果的に大気中の CO2 は増加されず、環境負荷低減に貢献することから、エネルギーtransitionにおけるドロップイン燃料（既存設備（車両）の仕様等の変更なく使用できる燃料）として、将来的な合成燃料等への移行の手前で、有効かつ実用的な環境対応燃料です。

4. 当所の戦略的な位置づけとバイオ燃料販売事業の意義

- ① 自社製造拠点として関西～中・四国エリアに亘る顧客への供給体制と販売基盤の確立
- ② 高濃度バイオディーゼル燃料・バイオ重油などのニーズに対応可能な高精度な混和製造設備の確立
- ③ GX-ETS（排出量取引制度）など脱炭素政策による需要増に対応可能な製造能力の確保

富士ユナイトグループは、「環境対応型エネルギーのコアビジネス化の加速」に向けた積極的な戦略投資により、グループビジョンである「環境のグリーン化対応とエネルギーの供給を通して社会に貢献するグループであり続ける」の実現に向け、社会課題の解決に積極的に取り組んで参ります。

5. 富士興産バイオ燃料製造/供給体制



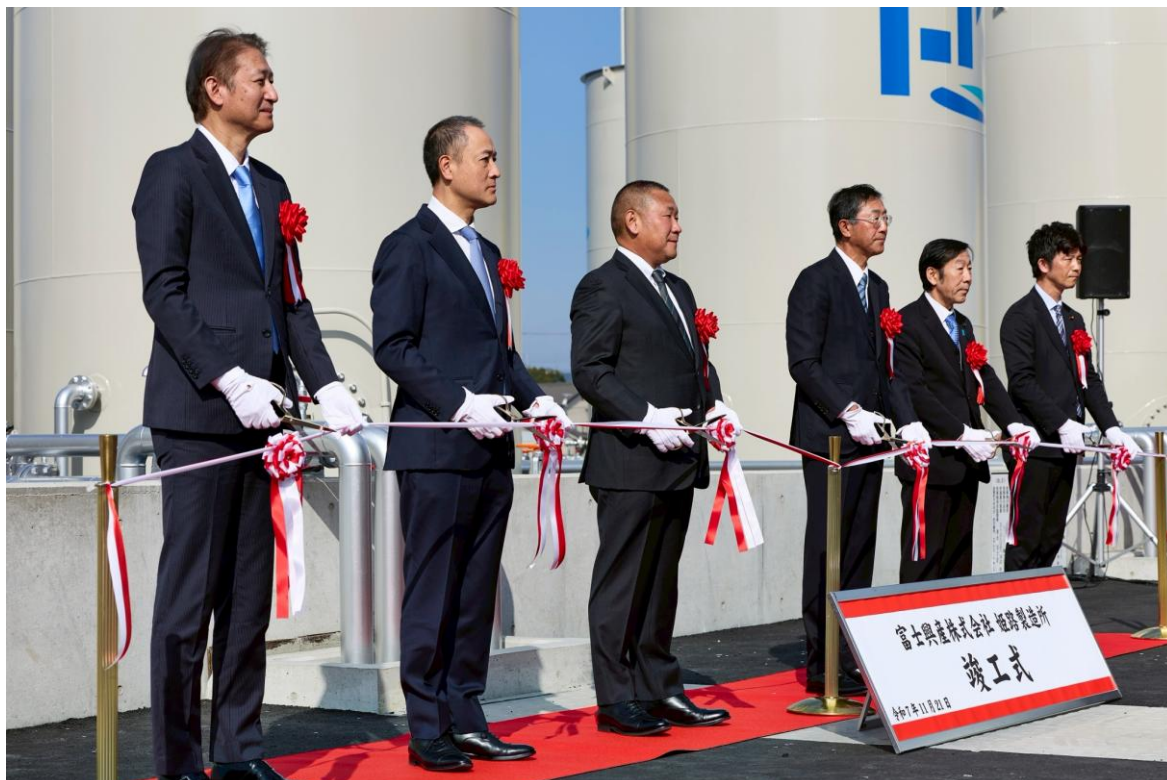
以上

<本件に関するお問い合わせ先>

富士ユナイトホールディングス株式会社 経営企画部

TEL:03-6849-8825

姫路製造所竣工式テープカット



竣工式(玉串拝礼)



姫路製造所全景



竣工記念パーティー 富士興産株式会社 代表取締役社長 川崎挨拶

